



2025年4月23日

各 位

会 社 名 株式会社ファンペップ
代表者名 代表取締役社長 三好 稔美
(コード番号：4881 東証グロース)
問合せ先 取締役管理部長兼 CFO 林 毅俊
(TEL. 03-5315-4200)

AI 創薬による特殊ペプチド創薬研究開始のお知らせ

当社は、この度、三井物産株式会社の完全子会社である株式会社ゼウレカ（東京都港区、代表取締役社長：務台 明子、以下「ゼウレカ」）との間で、将来的なファンペップ・ゼウレカ間での共同研究に向けて AI 創薬支援コンサルティング契約を締結し、AI 創薬による特殊ペプチド創薬研究（以下「本研究」）を開始しましたのでお知らせします。

当社は、独自のペプチド技術を用いた製品開発を通して社会課題の解決を目指し、事業を推進しております。現在、大阪大学大学院医学系研究科の研究成果である機能性ペプチド「AJP001」を強みとして展開する抗体誘導ペプチド（ペプチド治療ワクチン）プロジェクトと機能性ペプチド「SR-0379」を中心とした研究開発を進めております。

ゼウレカは、保有するスーパーコンピューターや計算創薬技術を用いて、AI や大規模の分子動力学シミュレーションを活用して構築・最適化したリガンドとタンパク質の複合体構造提示や、超大規模なバーチャルスクリーニングなどの幅広い AI 創薬支援サービスを提供しております。本研究は、AI 創薬支援サービスを展開するゼウレカのアドバイスの下で実施いたします。

当社は、2024年8月からゼウレカとの研究委託契約に基づき、抗体誘導ペプチドの AI 創薬研究を実施しておりますが、特殊ペプチド創薬に関する本研究においても、同社の AI 創薬支援サービスを活用して実施いたします。また、本研究の後半でのゼウレカとの共同研究契約締結を視野に入れて、共同研究を推進していく予定です。

なお今回、次世代創薬技術として期待されている特殊ペプチド（非天然アミノ酸を含む環状ペプチド）ⁱを用いた創薬分野の研究を拡大するため、mRNA ディスプレイ法を活用した特殊ペプチドの探索サービスⁱⁱを提供する富士フィルム和光純薬株式会社（大阪府中央区、代表取締役社長：吉田 光一、以下「富士フィルム和光純薬」）と特定の標的分子に強く結合する特殊ペプチドを探索する研究委託契約を締結しました。

当社は、AI 創薬支援コンサルティングに関してゼウレカへコンサルティング料を、特殊ペプチド創薬研究の研究委託に関して富士フィルム和光純薬へ研究委託費用を、それぞれ支払いますが、2025年12月期の研究開発費予測値に変更はありません。

i **特殊ペプチド（非天然アミノ酸を含む環状ペプチド）**

低分子医薬品（分子量：約 0.5 千）と高分子医薬品（分子量：抗体の場合は約 15 万）の間の大きさの中分子医薬品（分子量：1～3 千）であるペプチド医薬品は、低分子医薬品では結合できない標的分子を対象とすることができること、さらに特殊ペプチド（非天然アミノ酸を含む環状ペプチド）医薬品は、高分子医薬品より安定性や組織浸透性が高いことなどから、従来のモダリティ（創薬技術）では狙えない標的分子を対象にする創薬研究が可能であり、次世代のモダリティとして期待されています。

ii **特殊ペプチド探索サービス**

非天然アミノ酸を含む大規模なペプチド群（数十兆種）から、特定の標的分子に対して強固に結合する特殊ペプチドを探索し、ペプチド酵素合成・評価技術を活用することで、迅速かつ効率的に多様な種類の特殊ペプチドを取得するサービス。詳細については、以下をご覧ください。

https://labchem-wako.fujifilm.com/jp/custom_service/products/95372.html

【株式会社ゼウレカ】

所在地：東京都港区虎ノ門3丁目2番2号

設立：2021年11月1日

株主：三井物産株式会社（100%）

事業内容：1. AI創薬支援サービスの提供
2. 共同研究による創薬を目的とした研究開発
3. 計算環境（スーパーコンピューター）の提供（Tokyo-1事業）

HP：<https://xeureka.co.jp/>

【富士フイルム和光純薬株式会社】

所在地：大阪府大阪市中央区道修町3丁目1番2号

設立：1922年6月5日

株主：富士フイルム株式会社（100%）

事業内容：試薬、化成品ならびに臨床検査薬の製造・販売

HP：<https://www.fujifilm.com/ffwk/ja>

以上